

お客様の声

革新的なソリューションがもたらす
臨床結果の改善

ENDOCUFF VISION*7



ENDOCUFF VISIONは大腸がんの早期発見をサポートするデバイスです。大腸内視鏡の先端に装着し、大腸のひだを操作することで、内視鏡の手技中に観察可能な粘膜の範囲を拡大します。一列に並んだフレキシブルなアームがひだを伸ばしたり平らにしたりすることで、大腸全体の視認性向上に寄与します。

- **臨床的利点:** ENDOCUFF VISIONは、標準的な大腸内視鏡検査に比べて腺腫検出率 (ADR) を最大16%向上させることが示されており*1、医師ががんを早期に発見し治療できるようになることで、より多くの患者さんの命を救うことに貢献します。
- **患者さんのメリット:** 苦痛が少なく、粘膜の外傷が少ない、より容易な大腸内視鏡検査をサポートします。
- **販売地域:** 米国、欧州、アジア
- **今後5年間の成長見通し:** 2桁成長 (CAGR from FY2023)

オリンパスは、臨床結果を改善する革新的なソリューションを開発しています。オリンパスが直近で発売した革新的なソリューションの例を2つご紹介します。これらの新しいソリューションの開発には、医療従事者の方々との協力が不可欠でした。今後も、医療従事者と協力し合うことで、医療水準を向上させ、より良い医療システムを形成していきます。

iTind*7



iTindは、前立腺肥大症 (BPH) の低侵襲治療をサポートする非外科的治療デバイスです。ナイチノール製の一時留置デバイスを、閉塞した前立腺尿道に折り畳まれた状態で挿入後、超弾性ナイチノールの支柱が12時、5時、7時の3方向に拡張させ、尿の流れをよくするために前立腺を整形します。

- **臨床的利点:** iTindは前立腺肥大症の症状の早期改善に貢献します。前立腺組織を切開したり加熱したりする必要がなく、永久的にインプラントを留置することもなく、また、他の治療に伴う合併症を避けることに貢献します。
- **患者さんのメリット:** iTindは性機能や排尿機能を保全したままで、不快なカテーテルを不要にします。入院の必要がない簡単な処置で挿入できるため、患者さんは自宅で療養することができます。
- **販売地域:** 米国、欧州
- **今後5年間の成長見通し:** 2桁成長 (CAGR from FY2023)

お客様の声



ダグラス・レックス 博士
インディアナ大学ヘルス(米国)

“ 私は、ほとんどの大腸内視鏡検査でENDOCUFF VISIONを使用しています。主な利点は腺腫検出率が向上することです。Doug CorleyによるKaiserの研究から、ADRが1%上がるごとに大腸がんの確率が3%減少し、致死的大腸がんの確率が5%減少することが分かっています*2。また、ENDOCUFF VISIONによって検査効率が改善されることが強く示唆されています*3”



セス・グロス 博士
ニューヨーク大学ランゴン医療センター(米国)

“ 私がとても気に入っていて、使い始めてすぐに感じたメリットの一つが、ループの減少です。ループは大腸内視鏡検査における最も難しい課題の一つです。さらに、ENDOCUFF VISIONを使用することで、大腸のひだを思い通りに操作することができ、より注意深い検査ができるようになりました。大腸全体の表面をより多く見ることができ、他の方法では隠れてしまうような微妙なポリープを見つけることができます*4”

お客様の声



ビラル・チョットアイ 博士
ワイル・コーネル・メディシン(米国)

“ 私たちの無作為化比較評価の結果は、一時留置デバイスであるiTindの安全性と有効性を実証するものであり、前立腺を整形し、尿が流れるようにし、患者さんはカテーテルを留置して帰宅する必要なく下部尿路症状を緩和することができます。評価中に患者さんが経験した有害事象のほとんどは軽度で、2週間以内に解消しました。これは他の治療法への優位点です。さらに、iTindによる治療は性機能を損なわないことが評価結果から示されました*5”



ダニエレ・アンパローレ 博士
サンルイジ病院泌尿器科(イタリア)

“ 私たちは、iTindによる治療が長期間にわたって安全性の懸念が少なく、信頼性の高い低侵襲治療オプションであることを示す研究データを発表しました。この臨床的な効果の持続性に関するエビデンスは、BPH症状の治療オプションを検討している医師にとって重要なものです*6”

*1 Tsiamoulos ZP, Misra R, Rameshshanker R, Elliott TR, Beintaris I, et al. "Impact of a new distal attachment on colonoscopy performance in an academic screening center," *Gastrointest Endosc.*2018;87(1):280-287.

*2 Corley, D. A., Jensen, C. D., Marks, A. R., et al. "Adenoma detection rate and risk of colorectal cancer and death," *New England Journal of Medicine*, 2014;370(14), 1298-1306.

*3 引用は、Episode 2: ENDOCUFF VISION and Its Benefits - <https://medical.olympusamerica.com/products/encocuff-vision#forPhysicians>. Episode 3: Adenoma Detection Rate - <https://medical.olympusamerica.com/products/encocuff-vision>. レックス博士のコメントからの再編集である

*4 ウェビナーアートオブアンフォールディングー <https://youtu.be/dHmA9mEQZ40>

*5 Chughtai B, Elterman D, Shore N, et al. "The iTind temporarily implanted nitinol device for treatment of lower urinary tract symptoms secondary to benign prostatic hyperplasia: A multicenter, randomized, controlled trial" [Published online ahead of print, 2020 Dec 26]. *Urology* に掲載された試験結果. 2020;S0090-4295(20)31520-X. 引用: [https://www.goldjournal.net/article/S0090-4295\(20\)31520-X/fulltext](https://www.goldjournal.net/article/S0090-4295(20)31520-X/fulltext):2020年12月25日. "Gold Journal"として知られる査読付き医学雑誌Urology®に掲載された

*6 Amparore D, De Cillis S, Schulman C, et al. "Temporary implantable nitinol device for benign prostatic hyperplasia-related lower urinary tract symptoms: over 48-month results" [Published online ahead of print, 2023 Jun 23]. *Minerva Urol Nephrol.*2023;10.23736/S2724-6051.23.05322-3.

*7 医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております